



近年、伊香保温泉の湯治客の数は減少しているが、その理由の一つに、この地区が持っていた風情や魅力と逆行することを行って来たため、本来の良さやオリジナティーが失われつつある点が挙げられる。

昔の画や写真を見ると、伊香保温泉が石段街を中心としていかに魅力的で風情があったかがわかる。

したがって、先ずやるべきことは、もう一度、本来の伊香保に戻り、その風情や魅力を再現、再認識することである。

具体的には、次のようなことが挙げられる。

①突出し看板をやめ、統一した行灯型の看板にする

突出し看板は石段の風情を奪うだけでなく、振り返った時の、周囲の山々の眺望も台無しにしている。

高さ 1.2m 程度の統一した行灯型の看板だと、その両方を守ることができる。

②背の高い街路灯をやめ、統一した行灯型の照明にする
中央に林立する背の高い街路灯は石段の風情を奪い、周囲の山々の眺望も台無しにしている。

統一した行灯型の照明だとその両方を守ると同時に、夜は石段を明るく照らし、伊香保の象徴である石段街を浮かび上がらせることができる。

③階段中央の手摺を両端に移動して暖かい素材で覆い、内部に LED 照明を入れる

階段中央にあるステンレス製の手摺は階段巾を狭くし、

冷たく、風情を奪っている。

両端に移動すると共に目立たない茶系の色とし、手で持つ部分は耐候性の強い木等の暖かい素材で覆い、内部に LED 照明を入れて、夜は石段街を浮かび上がらせる。

④壁面の素材感や色味を統一する

壁面の素材はできるだけ耐候性の強い自然素材とし、色も暖色系の色味で統一し、(パリのモンマルトルのような)画家や絵画愛好家がスケッチに訪れたくなるような、風情と情感のある街並みにする。

⑤看板の文字やサインを統一する

外壁に面する看板の文字やサインはできるだけ統一し、石段街全体の印象を一体感のあるものにする。

⑥メーターボックスやパイプ、倉庫等は格子戸で覆う

石段街に露出しているメーターボックスやパイプ、倉庫等は格子戸で覆い、風情が台無しにならないようにする。

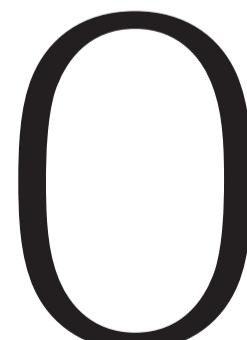
⑦伊香保の歴史を表す画や写真で屋根の無いギャラリーにする

石段街で見られる歴史的な画や写真の展示は伊香保の由緒正しさを表している。中央の小広場に面する壁面をそれで囲み、屋根の無い象徴的なギャラリーを作る。

⑧中央の小広場を伊香保温泉を象徴する場にする

中央の小広場は現在小さな公園となっているが、伊香保らしさを表しているとは言えない。

みんなで囲める足湯の場をつくり、ドクターフィッシュでエステしたりし、伊香保温泉らしさを表している象徴的な場を作る。



もう一度、本来の伊香保に戻ろう！

Going back to Real IKABO again!